



ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2015

要旨集



群馬県立自然史博物館は
国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)の
Iki・Tomo パートナーズのメンバーとして
生物多様性の保全や持続可能な利用に取り組んでいます。

ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会

趣旨

群馬県には、かけがえのない生き物たちを育む自然を調べ、伝え、守る活動をされている専門機関や団体が数多くあります。

地域と密着して活動続けるこれらの方々が、互いに出会いその活動を知り合うなかでネットワークを深めるとともに、より多くに県民の方々にその取り組みをお伝えしたいとの思いから、平成20年度より報告会を開催しています。



今年度は名称を、「ぐんまの自然の『いま』を伝える報告会」と改め、県内の野生生物たちが置かれている状況や、さまざまな保護保全活動の取り組みを紹介するとともに、参加者全員で群馬の自然の「いま」を共有し、その未来を考えていきたいと思いをします。

主催 群馬県

後援

群馬県自然環境調査研究会、NPO 群馬県自然保護連盟、(公財)尾瀬保護財団、群馬野外生物学会、(公財)日本自然保護協会、日本野鳥の会群馬、NPO ぐんま緑のインタープリター協会、群馬県野生きのこ同好会、利根沼田自然を愛する会、ヤリタナゴ調査会、かんな川水辺の楽校運営協議会、赤城姫を愛する集まり、NPO 日本チョウ類保全協会、環境カウンセラーズぐんま、特例財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、南限のサケを育む会、NPO 法人 片品・山と森の学校、群馬県緑のインタープリター会、特定非営利活動法人 ピッキオ、日本クマネットワーク、特定非営利活動法人 観音山丘陵調査、群馬ナチュラルリスト自然保護協議会、NPO 法人尾瀬自然保護ネットワーク

(順不同)

これまでの開催：

第1回：平成21年3月 1日

第2回：平成22年2月21日

第3回：平成23年3月21日

東日本大震災（3.11）により中止。要旨集を自然史博物館HPで公開。

第4回：平成24年2月12日

群馬県野生生物調査・対策報告会として、植物・菌類分野が加わる。

第5回：平成25年2月9日

名称を、「ぐんまの自然の『いま』を伝える報告会」と変更した。

※過去の報告については、自然史博物館HPにて掲載。

URL：http://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report_summary.html

第6回：平成26年2月16日

報告会の愛称募集中。大雪にて講演会は中止。

ポスター掲示を下記の期間実施した。

期間：平成26年3月15日（土）～平成26年4月19日（土）

掲示会場：自然史博物館 学習室・実験室前

第7回：平成27年2月15日

引き続き、報告会の愛称募集中。

第8回：特別展と報告会の開催

特別展会期・平成28年1月16日（土）～平成27年2月21日（日）32日 月曜日休館

展示の開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）

報告会日時・平成28年1月16日（土）13:00～16:45

基調講演、口頭発表・学習室

ポスター発表・企画展示室

今回から、特別展「ぐんまの自然の「いま」」として、ポスター展示を、約1ヶ月のロングランで展示させていただくことになりました。また、展示にあわせて、当館所蔵の資料もご活用いただき、より多くの方々の自然史に関する好奇心・探求心を刺激し、地域の生物多様性の保全への関心を高めていただくことができればと願っています。

